

きぼうへのかけはし

基本理念 希望のある医療



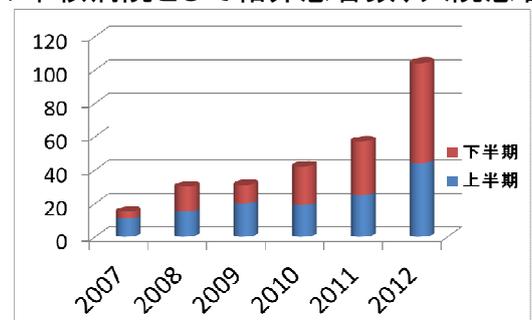
呼吸器外科の取り組み

～小さな創、痛みのない手術を目指して～

当科は呼吸器外科専門医の資格を持つ常勤医2名で2010年4月に開設しました。近隣には呼吸器外科を専門とする病院は少ないため、地域の中核病院として紹介患者数、入院患者数、手術件数ともに増加傾向にあります。

なかでも、気胸や肺がんの手術には特に力を入れており、胸腔鏡(※)を用いたものを基本としています。それ以外にも縦隔腫瘍、膿胸、悪性胸膜中皮腫などに対する手術実績もあります。(※) 胸腔内の観察・治療をおこなう内視鏡のこと。

先月号の本紙をご参照ください。



(呼吸器外科手術件数の推移)

1. 気胸患者さまについて

気胸にはいくつかの分類がありますが、最も多いものが原発性自然気胸です。もともと肺の病気をお持ちでない方に発症し、一般的には肺表面にブラという嚢胞(袋)ができて何かのきっかけに破れてしまい、肺がしぼんでしまう疾患です。20歳前後の背の高い男性に多くみられ、苦しさや胸の痛みを感じます。放置すると、たまった空気で心臓が圧迫されて重篤な状態になることがあります。また左右同時に発症してしまう方もおり、窒息の危険性がありますので治療が必要です。また、原発性自然気胸以外には女性特有の月経に関係したものや肺気腫に続発して発症するものなどがあります。当科では、初めて発症した方には胸にビニールの管を入れて、たまった空気を抜く方針としています。それでも空気漏れが続いたり、何度も繰り返す方には手術をご提案しています。

2. 手術について



(手術の様子)

胸腔鏡を使う手術を基本としており、モニターを見ながらブラを自動縫合器という機械で切除します。

この方法は既に日本中に広く普及していますが、多くの施設では3つのポートを胸に留置して手術をおこなっています。1つのポートを留置するためには1～2cmの傷をつける必要がありますが、気胸患者さまは特に若い方が多いため、あまり多くの傷をつけることは美容面で無視できない問題です。そのため当科では、全ての方が対象にはなりません。ブラの数や胸の中の状態によって2cm前後の1つの穴で手術する単孔式手術もおこなっています。

また、当科で考案した**“胸壁滑車法”**(胸の壁で滑車をつくり、肺に縫い付けた糸で病変部を自在に動かす方法です)を併用することで無理なく単孔式手術をおこなっています。肺を切除した部分には、人工物でできた吸収性のシートをあて補強しています。



(胸腔鏡下手術後の傷の様子)

1. 8cmの皮膚切開だけで手術をおこないました(赤の円周部分)

傷を閉じる時には抜糸のいらぬ溶ける糸や外科用のテープを使用しますので術後も傷があまり目立ちません。

早い方では、術後2日目に退院することも可能です。気胸手術をおこなったあとに10%前後の方が再発をしてしまうことが知られており、当科で手術を受けられた方は、しばらく外来で経過観察させていただく方針としています。

3. 再発を繰り返す方への対応

細心の注意を払って治療をおこなっても、体質によっては何度も気胸を繰り返す方がいます。再発された方は胸の中に癒着が起こることがありますが、その場合も可能な限り胸腔鏡での手術を心がけています。また次々に多くのブラができる方の場合、全てを切除することは困難なこともあります。その場合は肺を補強するシートを広範に被覆したり、生体ノリを使用し対応しているほか、ブラを比較的低温で焼灼し収縮させる方法も採用しています。

他院で治療後の方でも、お悩みの方はご相談ください。また比較的まれな月経に関連した気胸など特殊な気胸症例の治療経験もあります。

お知らせ

1. 今月の「ホッとひと息寄り道講座」

今月の講座を玄関ホール公衆電話前で次のとおり開催いたします。お気軽にご参加ください。

テーマ **お薬プチ講座 ～いつ飲むの？～**

日時 6月10日(月)・6月26日(水)10:00～

講演者 薬剤師

※過去の講座内容につきましては、当院ホームページでご覧いただけます

[トップページ](#)>[高砂市民病院の概要](#)>[広報・イベント](#)>[ホッとひと息寄り道講座](#)

2. 生活習慣病教室を開催します

当院では、医師をはじめとする医療スタッフが、生活習慣病についての予防や治療方法などを分かりやすく説明する生活習慣病教室を開催します。生活習慣病に興味のある方、その御家族の方で自由に参加できます。

テーマ **生活習慣病を防止しよう！ ～塩分・脂・カロリーについて～**

日時 6月19日(水)13:30～14:30

場所 当院2階・講義室

講演者 管理栄養士

「きぼうへのかけはし」に関するお問合せは、
地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
TEL 079-442-3981(内線5146)
FAX 079-443-1401
ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>